

令和2年度子育て支援者等研修講座 実施要項

- 1 趣 旨 家庭教育・子育て支援に関わる指導者等を対象に、講義や演習を取り入れた研修講座を実施することで、発達障害や児童虐待など、家庭教育や子育て支援に関する知識の習得、またコミュニケーション技法やあそびを通じた実践的指導力の向上を図る。
- 2 主 催 県立こどもの館
- 3 共 催 兵庫県教育委員会事務局社会教育課
尼崎市立すこやかプラザ（第5回は、共催になります。）
- 4 対 象 すべての教職員、子育て支援関係者
- 5 内 容 別紙「令和2年度子育て支援者等研修講座一覧」参照
- 6 申込について
 - (1) 受講料 無料
 - (2) 申込方法 インターネットによる申込み
 - ア 県立こどもの館 HP <http://kodomonoyakata.jp/> を開き、講座案内の「子育て支援者等研修講座」からPCまたはスマートフォンにてお申し込みください。
 - ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、定員や実施内容、実施方法等に変更が生じる可能性がありますことを、ご了承ください。変更については、メールでお知らせしますので、申請時にメールアドレスを登録してください。
 - イ インターネット等環境のない方は、県立こどもの館までお問合せください。
 - (3) 申込締切
各講座開催日の10日前まで(ただし定員になり次第、締め切ります。)
 - ※ 定員超過により受講できない場合は、メールで連絡します。
 - (4) 特別警報発表等非常時の対応について
 - ア 研修実施日の午前6時に、特別警報（大雨、防風、暴風雪、大雪等）や特別警報に位置づけられる大津波警報等が兵庫県内に発表されている場合等は、研修を中止する場合があります。HPにご登録いただいたメールアドレスにて連絡します。
 - イ その他の警報や自然災害等が発生した場合の受講については、所属長の指示に従ってください。
 - (5) 問合せ先
県立こどもの館 指導課（担当 中家）
〒671-2233 姫路市太市中 915-49
TEL079-266-3169 FAX079-266-4632

令和2年度子育て支援者等研修講座一覧

※ ()の数字は募集定員数

回	日程	主題・講師	会場	
1	10月3日(土)	10:00 ～15:00	<p>〈午前〉講義【子どもの意欲を高める運動遊び ～自己肯定感の育て方～】 〈午後〉実技【運動遊び作成のコツとヒント】 大阪青山大学 健康科学部 教授 村田 トオル</p>	加古川市立総合体育館(120名)
		内 容	<p>〈午前〉講義：運動遊びは体力向上だけでなく、心の成長にも大きく貢献します。体を動かすことにより、心が成長していく過程をわかりやすく解説します。</p> <p>〈午後〉実技：明日からの保育にすぐに取り入れられる運動遊びを実際に体験します。そして、同時に作成のコツを学びます。発育発達を考慮した運動遊び(ボール、かけっこ、サーキット)、保育者が熱中する運動遊び。</p>	
		【準備物】 筆記具, 運動できる服装(スカート不可), 室内シューズ		
2	10月10日(土)	10:00 ～12:00	<p>【オリジナル画像から通訳する発達障害の世界～2020バージョン～】 神戸市発達障害ピアカウンセラー 笹森 理絵</p>	朝来市生野マインホール(30名)
		内 容	<p>子どもたちの日常生活の中で、気になる言動・行動について、講師作成オリジナル画像を使用して分かりやすく通訳します。見て、感じていただきながら、対応の仕方や考え方、理解の仕方をお話しします。</p>	
		【準備物】 メモ用のノート, 筆記用具		
	10月10日(土)	13:00 ～15:00	<p>【生きる力をつけるわらべうた】 わらべうたの会 代表 堀口 真奈美</p>	
		内 容	<p>わらべうたで遊ぶと子どもの情緒が安定し、大人も癒されます。そして、笑わなかった子が笑ったり、遊べなかった子が遊べたり、少しずつ生活が良くなります。楽しく遊びを繰り返す経験が、たくましく生きるために必要な自信や自己肯定感を持つことにつながります。わらべうたは、伝承文化ですが、書物や箱の中に大切にしまっておくだけのものではありません。楽しく遊びながらわらべうたの可能性を学び合いましょう。</p>	
		【準備物】 動きやすい服装		
3	10月18日(日)	10:00 ～12:00	<p>【子どもの発達特性・児童虐待「被虐待児の行動について」】 関西福祉大学 社会福祉学部 教授 佐伯 文昭</p>	県立のじぎく会館(100名)
		内 容	<p>虐待を受けた子どもは、保育所や幼稚園で虐待を受けた子どもは、親が迎えにきても帰りがたがらない、友達を求めない、友達を叩く、激しい癇癪を起こす、保育者との関係が深まらないなどの特徴があり、さまざまな不適応行動を示します。なぜ、そのような行動を示すのか、愛着形成の視点から考えます。</p>	

		13:00 ～15:00	【絵本から広がる子どもの世界 ～絵本の読み聞かせからあそびを通して育む表現力と創造力～】 アトリエ・ペタタ 理事長 石橋 幸子	
		内 容	子ども達に寄り添う絵本の選び方、読み聞かせのポイント、絵本の持つ本来の役割をたくさんの絵本と共に学びます。また、日々の暮らしへと関連付ける方法や子ども達の表現力・創造力を育む様々なあそびへ発展させる方法を、体験的に学習します。	
			【準備物】 筆記用具・はさみ	
4	10月25日(日)	10:00 ～15:00	【発達障害の子どもたちの困り感と支援の実際～発達を促す遊びや活動～】 株式会社アニマシオン プレイジム 代表 太田 篤志	県立のじぎく会館(100名)
		内 容	〈午前〉発達障害の子どもは、「困った子ども」ではなく「困っている子どもたち」であると言われています。この講座では、子どもたちが抱える困り感とその原因について、運動機能や認知、社会性、コミュニケーションなど側面から捉え、共感的に理解・支援する考え方をお伝えします。 〈午後〉全身の運動や手先の動作のスキルを育む遊びの考え方をワークショップを通して体験していきます。	
			【準備物】 動きやすい服装(スカート不可)	
5	11月1日(日)	10:00 ～12:00	【発達障害があっても大丈夫～心が整う関わりのコツ～】 結び手 代表 森山 和泉	尼崎すこやかプラザ(60名)
		内 容	ものの見え方や捉え方、考え方が違うと言われる発達障害のある人たち。その違いを知ることは、素晴らしい世界との出会いでもあります。お互いの小さな歩み寄りで、「困ったな」が、「おもしろい」になります。くすっと笑えるエピソードを通して発達障害の理解を広げます。	
		13:00 ～15:00	【LGBT/性的マイノリティと人権】 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科・人間社会学部 教授 東 優子	
		内 容	「多様性との共存・共生」「みんながってみんないい」といった言葉がよく聞かれるようになりました。しかし、こうした理念がリップサービスで終わらない社会、多様な存在が排除されない社会とはどういったもののでしょうか。「性の多様性」というレンズで、学校や地域社会のあり方について考えてみませんか。	

- ※ 第1回・第3回・第4回については、令和2年度幼児教育研修会と合同となります。
- ※ 午前の部、午後の部のどちらかのみ受講も可能です。
(第1、4回については一日受講となります。)
- ※ 必ず各講座の準備物をご確認ください。